

第22回松本砂防事務所工事安全対策研究発表会を開催しました

平成8年12月6日に14名の尊い人命を失い、9名の負傷者を出した蒲原沢土石流災害から今年度で23年となりました。松本砂防事務所工事安全対策研究発表会は、この災害を風化させることなく、砂防工事現場の安全対策に活かすことを目的に平成10年から実施しており、22回目となる今回は令和2年2月5日に長野県大町市において開催しました。

当日は、松本砂防事務所が発注する工事及び業務の受注者をはじめ、国土交通省や地方自治体の職員等約250名が参加し、工事施工者から応募があった砂防工事の安全対策の工夫に関する論文31編の中で、一次選考会より選ばれた7編の論文を発表していただきました。

また、会場では、工事の安全に関して創意工夫を行った事例について、ポスターセッション(7件)も行い、参加者の投票により、3件の優秀賞が決まりました。

本発表会を通じ、参加者一同、土石流災害について改めて認識を深めるとともに、砂防工事における安全管理等について意識を高めました。

○論文の部

・最優秀賞 北陽建設(株) 内川 浩一氏
「前ヶ沢砂防堰堤工事における
リスク低減対策について」

・優秀賞 金森建設(株) 松沢 実氏
(株)相模組 西山 義則氏

○ポスターセッションの部

・優秀賞 (株)北野 高原 卓司氏
(株)相模組 高橋 翔太氏
(株)鷺澤建設 太田 欣宣氏

○講演

「令和元年10月台風19号出水について」
北陸地方整備局 河川部長 田部 成幸氏



工事施工者による論文発表



ポスターセッション



田部 成幸氏による講演



表彰式